

安倍総理ビデオメッセージ
ワールド・ガバメント・サミット

(冒頭)

- アッサラーム・アライクム。(注：アラビア語で「こんにちは」の意)
- 日本国内閣総理大臣、安倍晋三です。
ハリーフア大統領、ムハンマド首相、ムハンマド・アブダビ皇太子、御列席の皆様、今般、ワールド・ガバメント・サミットが、アラブ首長国連邦で盛大に開催されることを、心からお祝い申し上げます。

(世界が直面する課題と政府の役割)

- ワールド・ガバメント・サミットは、政府機能の強化、未来の政府をテーマに、世界中から知識人が集まり議論する、大変有意義な国際会議です。
- アイデンティティや文化・伝統を異にする人々がいかに共存できるかは、今日の世界が直面する重要な課題です。多様性の尊重が今ほど必要な時はありません。多様性を社会の活力として活かす、これこそ政府の役割と考えます。

(日本の取組：一億総活躍)

- 私は、イノベーションを通じた経済成長の実現を推進しています。鍵は多様性です。多様性から新たなアイデアや、イノベーションが湧き起こります。
- 私が取り組む「一億総活躍」は、そうした新しい経済社会システムを創る挑戦です。例えば、女性の活躍、高齢者の就労促進。一人ひとりが持つポテンシャルを最大限に発揮できるよう、女性や高齢者が働くためのより良い環境を整備していきます。
- これまで多くの方が、「少子高齢化が進む日本に未来はないのではないか」と指摘してきました。しかし、私は、様々な人が持つ潜在的な力を社会の活力として最大限に発揮することが出来れば、日本の直面する少子高齢化に真正面から立ち向かうことができると考えます。

(アラブ首長国連邦は先駆者)

- 古来より、中東は多様な宗教や民族の共存の下で繁栄してきました。何世紀にもわたり育まれてきた「寛容」と「中庸」の精神が、平和と繁栄をもたらします。
- 2013年に私がドバイを訪問した際、民族や宗教に関係なく多様な人々が共に暮らし、活動する姿に感銘を受けました。アラブ首長国連邦は「幸福」と「寛容」を政府の責務と掲げ、担当大臣を創設したと聞いています。
- 多様性を包摂するとの点において、アラブ首長国連邦は世界の先駆者です。中東地域の「寛容のオアシス」であるアラブ首長国連邦に、改めて深い敬意を表します。

(結び)

- 2020年に、東京ではオリンピック・パラリンピック、ここドバイでは国際博覧会が開催されます。私たちはお互いに、多様性を社会の活力に活かし、寛容の精神の下に平和と繁栄を実現している社会のあり方を、世界中から訪れる多くの人々に示そうではありませんか。
- ありがとうございました。